



薩摩川内市



蘭牟田池 環境保全基本計画

～リアルネイチャー
～ラムサール条約登録湿地の持続的保全と陸・池・空で体験する本物自然～



はじめに

藺牟田池は、池の辺縁に多くの湿性植物が繁茂し、豊富な植物を求めて飛来する昆虫や、その昆虫を食べる鳥等、多種多様な動植物による湖水生態系が形成されています。

その価値が認められ1921年に国の天然記念物に指定され、2005年には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」の湿地として登録されました。

この藺牟田池は、農業用水の確保、防災、観光や教育など、多くの機能を有しているほか、国内希少動植物ベッコウトンボをはじめとする多様な動植物が生息するこの池は、市民の憩いの場、健康増進の場としても私たちに大きな恵みをもたらしてくれます。

しかしながら、近年は外来種による在来種の捕食や豪雨・渇水等による水位の変動等によって、藺牟田池の生態系が大きく変化してきており、本市ではこれまで、藺牟田池の希少な自然環境を保全し、維持するために、外来魚の駆除やビオトープの整備など様々な取り組みを行ってきました。

一方で、環境保全活動の担い手の高齢化に伴い、湿地の管理や保全に携わる人材が不足し、また、継続的な資金調達が困難になっており、藺牟田池の自然環境を維持し、保全していくための取り組みを継続的に実施していくことが困難な状況になっています。

そこで、本市では、自然環境の有する機能を活用し、持続可能で魅力ある社会の実現を目指すため「藺牟田池環境保全基本計画」を策定し、グリーンインフラの手法を用いて藺牟田池の環境保全に取り組むことといたしました。

この計画では、藺牟田池の現状や課題を分析し、将来のビジョンや目標を明確にした上で、実現するための具体的な施策や取組を示しています。

この計画を実行することにより、ラムサール条約の目的である「保全・再生」、「ワイズユース（賢明な利用）」、「交流・学習」を実現するとともに、地域の活性化にも貢献できるものと考えております。

これからも、ラムサール条約の登録湿地としての誇りを持ち、責任を持って藺牟田池の価値を次世代に引き継いでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました地域住民の皆様をはじめ多くの皆様方に心から感謝申し上げます。

令和6年5月

薩摩川内市長 田中 良二



蘭牟田池 環境保全基本計画



～ラムサール条約登録湿地の持続的保全と陸・池・空で体験する自然体験

リアルネイチャー

～

*** 目 次 ***

第1章	計画の趣旨	1
1.1	計画の目的	1
1.2	グリーンインフラ	2
1.3	計画対象区域	3
1.4	計画期間	3
第2章	蘭牟田池の現状	4
2.1	地域の概要	4
2.2	歴 史	5
2.3	社会環境	12
2.4	自然環境	22
第3章	蘭牟田池の課題整理とニーズの抽出	33
3.1	蘭牟田池の現状からみた課題	33
3.2	ワークショップの開催	38
3.3	eまちアンケートの実施	39
3.4	各種団体との意見交換	40
3.5	課題及びニーズの抽出	40
第4章	蘭牟田池の環境保全基本計画策定	45
4.1	蘭牟田池での展開方針	45
4.2	蘭牟田池周辺のゾーニングイメージ	46
4.3	エリア別の自然体験メニュー	47
4.4	蘭牟田池環境保全計画の推進 ～蘭牟田池スタイル～	48
第5章	計画の実行に向けて～アクションプラン～	69
5.1	行動計画と実施項目	69
5.2	計画推進体制	70

